

■米国：FERCがISO-NEの容量市場価格高騰の実態を調査

2014年6月30日付の報道によると、連邦エネルギー規制委員会（FERC）はISO ニューイングランド（ISO-NE）が2014年2月に決定した2017 - 2018年容量市場価格に対して調査を開始している。同地域では、バーモントヤンキー原子力やブレイトンポイント石炭火力の廃止によって将来の供給力不足が懸念されており、2017 - 2018年の容量市場オークションでは、調達量が不足し容量市場価格は上限の15ドル/kW・月となった。FERCはISO-NEに対して、価格決定に不正がなかったかどうかを判断するため、時系列ごとの既設電源の供給可能量およびde-list bids（廃止予定電源が仮に運転を維持する場合に必要な最小限の価格。容量市場価格がこの値を上回れば、対象電源に対して運転継続をオファー）等の提出を要求している。